

107537168
JC06 Rec'd PCT/PTO 01 JUN 2005
MIYOSHI & MIYOSHI

PATENT ATTORNEYS

MIYOSHI INTERNATIONAL PATENT OFFICE

Established : August, 1965

Toranomon Daiichi Building

1-2-3 Toranomon, Minato-ku, Tokyo 105-0001 Japan

Telephone : +813-3504-3075

Facsimile : +813-3597-0086/3595-0387/3595-0564/3504-3060/3504-3088/3504-3167

URL : <http://www.miyoshipat.co.jp/>

E mail : info@miyoshipat.co.jp

E mail : mm@miyoshipat.co.jp

World Intellectual Property Organization
PCT Division
34 Chemin des Colombettes
1211 Geneva 20
Switzerland

March 12, 2004

Amendment of the claims under Article 19(1) (Rule 46)

International Application No.: PCT/JP03/15234

International Filing Date: 28.11.03

Applicant: SONY CORPORATION

7-35, Kitashinagawa 6-chome,
Shinagawa-ku, Tokyo 141-0001, Japan

Agent: NAKAMURA, Tomoyuki

c/o Miyoshi International Patent Office,
9th Floor, Toranomon Daiichi Building,
2-3, Toranomon 1-chome, Minato-ku,
Tokyo 105-0001, Japan
Telephone Number: 81-3-3504-3075

Applicant's or Agent's File Reference: JSONY-464PCT

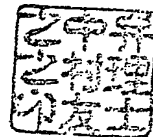
Dear Sirs:

The Applicant, who received the International Search Report relating to the above identified International Application transmitted on 20.01.2004, hereby files amendment under Article 19(1) as in the attached sheets.

In the attached sheets (Sheet Nos. 25 to 27), claim 1 is amended, claims 11 to 20 and 22 are canceled and claims 2 to 10 and 21 are retained unchanged.

Sincerely yours,

弁理士 中村 友之



NAKAMURA, Tomoyuki
Patent Attorney

Attachment:

Amendment under Article 19(1) Sheet Nos. 25 to 27

請求の範囲

1. (補正後) 生分解性高分子化合物、無機材料及び加水分解抑制剤を含有する音響機器筐体用材料において、比重が 1.3 g/cm^3 以上であることを特徴とする音響機器筐体用材料。
2. 生分解性高分子化合物が、多糖類、生分解性ポリエステル、ポリアミノ酸、ポリビニルアルコール、ポリアルキレングリコール、これら共重合体又はこれら混合物であることを特徴とする請求の範囲第1項記載の音響機器筐体用材料。
- 10 3. 生分解性ポリエステルが、ポリ乳酸、ポリカプロラクトン、ポリヒドキシ酪酸、ポリヒドロキシ吉草酸、ポリエチレンスクシネート、ポリブチレンスクシネート、ポリブチレンアジペート、ポリリンゴ酸、微生物合成ポリエステル、これら共重合体又はこれら混合物であることを特徴とする請求の範囲第2項記載の音響機器筐体用材料。
- 15 4. 無機材料が、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、水酸化カルシウム、硫酸バリウム、炭酸カルシウム、酸化チタン、アルミナ、マイカ及びタルクから選択される少なくとも一種以上を含有することを特徴とする請求の範囲第1項記載の音響機器筐体用材料。
5. 無機材料が、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、水酸化カルシウム、硫酸バリウム、炭酸カルシウム、酸化チタン、アルミナ、マイカ及びタルクから選択される少なくとも一種以上を含有することを特徴とする請求の範囲第2項記載の音響機器筐体用材料。
- 20 6. 無機材料が、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、水酸化カルシウム、硫酸バリウム、炭酸カルシウム、酸化チタン、アルミナ、マイカ及びタルクから選択される少なくとも一種以上を含有することを特徴とする請求の範囲第3項記載の音響機器筐体用材料。
- 25

7. 加水分解抑制剤が、カルボジイミド化合物、イソシアネート化合物及びオキサゾリン化合物から選択される少なくとも一種以上を含有することを特徴とすることを特徴とする請求の範囲第1項記載の音響機器筐体用材料。
- 5 8. 加水分解抑制剤が、カルボジイミド化合物、イソシアネート化合物及びオキサゾリン化合物から選択される少なくとも一種以上を含有することを特徴とすることを特徴とする請求の範囲第2項記載の音響機器筐体用材料。
9. 加水分解抑制剤が、カルボジイミド化合物、イソシアネート化合物及びオキサゾリン化合物から選択される少なくとも一種以上を含有することを特徴とすることを特徴とする請求の範囲第3項記載の音響機器筐体用材料。
- 10 10. 加水分解抑制剤が、カルボジイミド化合物、イソシアネート化合物及びオキサゾリン化合物から選択される少なくとも一種以上を含有することを特徴とすることを特徴とする請求の範囲第4項記載の音響機器筐体用材料。
- 15 11. (削除)
12. (削除)
13. (削除)
- 20 14. (削除)
15. (削除)

- 1 6 . (削除)
- 1 7 . (削除)
- 1 8 . (削除)
- 1 9 . (削除)
- 5 2 0 . (削除)
- 2 1 . 音響機器が、テレビ、ステレオ、ラジカセ又はヘッドホーンで
あることを特徴とする請求の範囲第 1 項記載の音響機器筐体用材料。
- 2 2 . (削除)